

デーリー東北

2022年(令和4年)10月20日(木曜日) (16)

地域と共に歩む

八戸工業大創立50周年

八戸工業大には現在、大学院を含めて1159人の学生が通い、学業や研究、サークル活動などで青春を謳歌する。ものづくりの工学部、新たな価値を付与する感性デザイン学部の2学部体制の中、地域での活動も多く、学生はデザインやアプリケーション開発などで市民生活に貢献している。最先端の知識や技術が学べる工学部は、本年度から従来の5学科を工学科のみの1学科に統合。社会で通用する一般的な知識を身に付けながら、機械、電気電子通信、システム情報、生命環境、建築・土木の5工学コースの選択で望む分野を追究できる体制とした。「自ら学びたい人には最高の環境」。同学科システム情報工学コース4年の松

② 2学部体制

市民生活に貢献の実績も



デザインの開発に取り組む
佐々木南海さん



勉学に打ち込む
松村泰至さん

村泰至さん(22)は学習環境をこう表現する。大学が所蔵している優れた知的財産に加え、教員ら

生のアイデアを頭ごなしに否定しない。「ものごとを追究する人は楽しいと思う」とアピールする。

2005年設立の感性デザイン学部。多様な文化を理解し、ローカルとグローバルな観点から、新たな価値を生み出せる人材の育成を図る。地域と連携した実践的な活動は、その地域を盛り上げる力にもなっている。

八戸市の地域連携ICカード「ハチカ」をデザインした同学部3年の佐々木南海さん(21)は「選ばれるとは思っていなかったけど、街中でみんなが使ってくれるのはうれしい」と笑顔を見せる。授業で市内などに出ることも多く、地域の一助になれたことを誇りに思う。

年々深まっていく両学部の連携。学生は学部を超えて交流し、切磋琢磨している。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。